

令和7年 第8回 定例会一般質問（12月16日）

質問者 渡邊 直樹 議員

通告順1

質問事項	大規模太陽光発電（メガソーラー）建設への対策と太陽光発電の課題について	質問の相手	町長
1			

[質問要旨]

津別町では平成22年度より「津別町太陽光発電システム導入支援事業」を行い、再生可能エネルギーの普及促進を目的に、一般住宅へのソーラーパネル設置に対し補助を行っております。

一方、新聞報道では、十勝管内の事例として50kW（キロワット）未満の小規模な発電施設を近い地番に複数に分けて設置することで、「分割」と呼ばれる事案が紹介されており、道内では300箇所以上の同様の事例が見られるとのことです。

「分割」は、売電事業者にとってコスト面での利点がある一方、住民説明会が不要となるなど規制が緩く、安全面や環境面への影響も指摘されています。

また、直近では釧路湿原周辺での建設問題や、遠軽町でメガソーラー建設予定が住民説明の後に撤回された例などがあり、津別町でも今後に向けた対策を検討する必要があると考え、次の点について伺います。

- ① 近年の「津別町太陽光発電システム導入支援事業」の実施状況の推移と、補助を交付した施設の総数はどのようにになっているか。
- ② 町の補助事業に該当しない太陽光発電（10kW以上）の状況は把握しているのか。また、町の税収面での効果はどのようにになっているのか。
- ③ 太陽光発電に対する懸念や課題として考えられる次の点は、どのような考え方。
 - ・ 町内において、施設周辺の雑草や衛生面に管理不足を感じるが、現状をどのように捉えているのか。
 - ・ 大規模な施設ほど将来の廃棄が問題となる懸念があるが、その対策は検討されているのか。
 - ・ 自然環境への影響や、景観が損なわれることへの懸念も考慮すべきと考えるが、これに対する見解は。
 - ・ 廃校後のグラウンドや公営住宅跡地などが売却されたのち、発電施設が設置される可能性は無いのか。
- ④ 道内の複数の自治体でメガソーラー建設が問題となっているが、どのように受け止めているか。
- ⑤ メガソーラー設置を規制する条例の整備を検討すべき時期と思われるが、どのように考えているのか。

令和7年 第8回 定例会一般質問（12月16日）

質問者 山田 英孝 議員

通告順2

質問事項 1	歯の健康と歯周病対策について	質問の 相手	町長 教育長
-----------	----------------	-----------	-----------

[質問要旨]

厚生労働省は、令和5年10月5日付けで「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の全部改正について」の通知を発出しました。

この通知では、平成24年より開始された同推進施策が令和5年度で終期を迎える、最終評価では「歯や口腔の健康に関する健康較差がある」、「国・地方公共団体におけるPDCAサイクルの推進が不十分である」といった課題が指摘され、改善に向けた基本的事項の策定や参考指標の見直しなどが示されたところです。

わが国では、成人の8割に歯周病などの所見が認められています。歯周病は、歯の健康を損なうだけでなく、歯ぐきに付着した歯周病菌やその成分が血管内に侵入し、全身に悪影響を及ぼすことが明らかになっています。

また、近年では、糖尿病との関連が注目されているなど、本町の健康施策において、歯の健康と歯周病対策は非常に重要と考え、次の点について伺います。

- ① ここ数年の歯科健診（乳幼児、小中高生、成人、後期高齢者）の実施状況と受診率は。
- ② 国が予定している「国民皆歯科健診」導入の背景や、目指すところの所見は。
- ③ 町の歯科健診受診率向上に向けた課題と対策は。

質問者 篠原 真稚子 議員

通告順3

質問事項 1	不登校対策について	質問の 相手	教育長
-----------	-----------	-----------	-----

[質問要旨]

不登校の児童生徒は増加傾向にあり、児童生徒にとっても心身の発達への懸念、義務教育の履修が不十分となっています。

このことは本人や家族においても辛い悩みとなるばかりでなく、子どもは未来へつなぐ宝であるという観点からも、社会への損失と考えられます。

そこで、次の点について伺います。

- ① 小・中学校における不登校の現状は。
- ② 主な不登校の要因は。
- ③ 学校での不登校対策の取り組みの方針は。
- ④ 不登校になった場合の児童生徒に対する具体的な取り組みは。
- ⑤ 不登校になった場合の家庭への具体的な支援は。
- ⑥ 今後において、不登校になった児童生徒の居場所をつくる考えはないか。

質問者 山内 彬 議員

通告順4

質問事項	質問の相手	町長
1 町長の政治姿勢について		

[質問要旨]

5期目を迎えた町長の町政執行に対する所信にて、7項目の公約を基にこれまで「まちづくり」を進めてこられました。残すところ1年の残任期間ではありますが、次の2点についてお伺いします。

- ① 6項目の公約は概ね実現されたと思いますが、一つ目に掲げられた「まちの憲法」とも言われている「まちづくり基本条例」の制定につきましては、未だ制定の目処が不透明ですが、次の点についてお伺いします。
- これまでの策定委員会の開催状況と概要はどのようにになっているのか。
 - まちづくり基本条例の制定目処および制定する際には、住民参加による多様な意見を反映させることが重要となるがどのように合意形成を図るのか。
- ② 来年11月には任期満了に伴う町長選挙が実施される予定となっているが、勇退されるのか、または再出馬されるのかの表明時期についてお伺いします。

令和7年 第8回 定例会一般質問（12月16日）

質問者 山内 彬 議員

通告順4

質問事項 2	畠地かんがい整備事業の推進について	質問の 相手	町長
-----------	-------------------	-----------	----

[質問要旨]

令和4年3月定例会において、津別町の畠地かんがい整備事業の推進について一般質問を行っております。これは前年の異常高温や干ばつにおける災害を防ぐ対策として取り組むべき事業の推進についての質問でした。

今年も同じような状況となり、津別町の農業は相当な痛手を被っております。

そこで次の点についてお伺いします。

① 令和4年3月定例会で町長は、水利権など厳しい状況にあるが、既存水利権の水田かんがいと工業用水の活用ができないか研究をしてみたいと答弁されております。

どのような研究をされたのか伺います。

② 今年の農業生産への影響などは、どのような結果となっているのか。

③ 隣町美幌町では現在、国営かんがい排水事業と道営事業（畠総）が「網走川中央地区」で行われております。岩富地区に隣接する美和地区に頭首工を設置し畠地かんがい施設整備事業を進めておりますが、津別町もこのような事業の取り組みをすべきではないか。

④ この災害の当面の対策として、現在、営農用の水道料金は50m³まで1月あたり6,704円となっているが、緊急的措置として100m³までと、200m³までで段階的に低廉な超過料金を設定することで、これを活用することはできないか。

⑤ 耕地の保水力を維持するため、バーク堆肥の活用が有効と思われるが、これを活用するため、購入費用の一部に補助をすることはできないか。

令和7年 第8回 定例会一般質問（12月16日）

質問者 高橋 剛 議員

通告順5

質問事項	外国人介護人材確保について	質問の相手	町長
1			

[質問要旨]

厚生労働省による、外国人雇用についての届け出情報の取りまとめによれば、令和6年10月末時点で、わが国における外国人労働者的人数は、230万2,587人となっており、届出が義務化された平成19年以降、過去最多を更新しており、対前年増加率は12.4%と前年と同率であったとの報告がありました。

介護分野の特定技能外国人在留者数は、受け入れを開始した令和元年以降、継続して増加しており、令和6年12月末の在留者数は約4万4千人であり、過去最多となっています。介護分野における外国人労働力は、日本人の介護従事者が減少している中、すでに奪い合いになっているとの指摘もでています。

そこで次の点について伺いたい。

- ① 津別町における外国人介護職の受け入れた人数と定着率はどうなっているのか。
- ② 介護福祉士の資格取得を目指す外国人留学生に、奨学金（年間370万円を2年間）を令和5年度までに3名、6年度で1名に給付したことだが、制度の見通しをどう考えているのか。
- ③ 町が、外国人介護人材の定着率向上のため、取り組んでいることはあるのか。